

## 令和3年度 自己評価結果公表シート

新川北保育園

### 1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育者としての資質や能力・良識・適正	職員間での報告、連絡、相談の重要性を全体で確認。報告等の漏れがないよう各自心がけ、連絡ノート・ホワイトボードを活用。口頭だけではなく、全職員が把握できるよう対策を立てた。
地域の自然や社会とのかかわり	環境について、新型コロナで家庭でも外出が減っている中、対策・計画を立て、戸外へ積極的に出て、四季折々を感じられる取組を行った。
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	保育の専門性について、オンライン研修で保育のスキルを高める為、積極的に参加した。研修の中で、園に今必要なことを職員間で考えスタートすることができた。
地域における子育て支援	子育て支援として地域における子育て支援について、保育士間で考え、環境設定をしてきたが、子育て支援の地域への発信力がないと同時に、新型コロナ感染状況により積極的な取り組みができなかった。

### 2. これから改善したいこと

評価項目	取組状況
保育の在り方・幼児への対応	玩具や設定内容など様々な活動の中で環境設定を整えることができなかった。また、子どもたちが苦手なこと得意なことに対して継続して何かを行うなど工夫する必要がある。
保護者への対応・守秘義務	保護者とのコミュニケーションがコロナ禍でなかなか困難で、連絡帳や電話等で伝えるようにしたが不十分なところもあった。記録の大切さについては、各保育士の自覚が育っている。
保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	研修に自己課題を持ち、積極的に取り組み、報告もできている。園内担当で運動面や食育、音楽リズムなど興味・関心を持ち様々な改善を図り、興味や関心の幅を広げていきたい。
保育の在り方・3歳未満時への対応	担当制の保育に取り組んでみたが、様々な場面で継続して対応して育むことができた。クラス内でも一人一人の成長を把握できるよう話し合い、喜び合いながら発達を促すよう取り組みたい。